



いたばし
SDGs/ESG
経営推進
支援事業
修了企業

令和8年度第1回 いたばし未来志向経営サミット

開催レポート

“自社”の強み×“他社”の強みで考える！

～異業種コラボ体験！ムチャクチャな妄想から生まれる新規事業の種～



2026年7月13日(月)、「令和8年度第1回 いたばし未来志向経営サミット」が開催されました。

今回は、板橋区の支援事業を修了し SDGs 経営を実践する 11 社の経営者が集結。自社の強みを持ち寄り、他社と掛け合わせることで新たな事業の種を生み出す「ワールド・カフェ方式(席替えを伴う少人数対話)」を実施しました。経営者たちが純粋にアイデアを出し合い、すべての参加者が笑顔で新たな「共創プラン」を持ち帰った、熱気あふれる当日の様子をお届けします。

◆ 開催概要 ◆

イベントの名称	令和8年度第1回 いたばし未来志向経営サミット
今回のテーマ	“自社”の強み×“他社”の強みで考える！ ～異業種コラボ体験！ムチャクチャな妄想から生まれる新規事業の種～
開催日時	2026年7月13日(月)15:00～17:30
開催場所	板橋区立グリーンホール(東京都板橋区栄町 36-1)
参加者	令和4～7年度に〈板橋区 SDGs/ESG 経営推進支援事業〉に参加し修了した企業 11 社の経営者 (1) 翔悠合同会社 田中貴師 社長 (7) 栗山造園株式会社 石井洋美 社長 (2) 株式会社ヤマテ・サイン 安川重理 社長 (8) 社会福祉法人ひまわり福祉会 盛山由佳 理事長 (3) 株式会社日本ラベル 平山雄太 社長 (9) 株式会社フォーラム・ジェイ 永塚保夫 社長 (4) しおきデンタルクリニック 塩木真由子 院長 (10) 株式会社サンアルク 田嶋敏彦 社長 (5) シグナライズ株式会社 板谷春花 社長 (11) 株式会社ルケオ 吉村健太郎 社長 (6) 恵友印刷株式会社 萬上孝平 社長 ※写真⑥から順
内容	1. オープニング:「事業化のプレッシャー」を手放すマインドセット 2. ワールド・カフェ:3つのラウンドで深める「共創の掛け合わせ」 3. ハーベスト(全体共有):11社連続!2分間・共創プランピッチ 4. クロージング:共創の輪がもたらす未来
主催	板橋区産業経済部産業振興課
運営・事務局	一般社団法人板橋中小企業診断士協会

1. オープニング:「事業化のプレッシャー」を手放すマインドセット

冒頭、板橋区産業振興課 藤原課長(右)から、本事業の修了企業に対する期待を示す挨拶があり、続けて進行役より、本サミットの開催意義と本日の明確なゴールが共有されました。本サミットは、SDGs/ESG 経営推進支援事業を修了し、すでに自社の強みと課題を深く理解しているトップランナー企業だからこそ実現できる「実践と共創の場」です。本日のゴールは、用意された『共創プラン・シート』のステップに沿って対話を重ね、最後に「多少強引、無理矢理でもよいので、自社と他社の強みを掛け合わせるという新しい実証実験の種を完成させること」であると宣言されました。



さらに、妄想を深め、活発なアイデア出しを促すための「重要なルール」が提示されました。それは、「本日は事業化のプレッシャーや自社のリソース不足といった**現実的な制約は一旦忘れること**」、そして「他社のアイデアに対して『でも』『だって』といった否定の言葉をあえて禁句とし、『**それ、いいね!**』と面白がって乗っかること」です。経営者という孤独や責任から離れ、純粋に異業種コラボレーション(化学反応)を楽しむ。この心理的安全性が担保されたルールの提示により、会場の緊張感が一気にほぐれ、参加者全員が迷いなく対話に没頭できる万全の土台(マインドセット)が整えられました。

2. ワールド・カフェ:3つのラウンドで深める「共創の掛け合わせ」

本サミットでは、参加者のコミュニケーション能力などに依存せず、誰もが確実に成果に辿り着けるよう、緻密に設計された「ツールと運用ルール」が導入されました。

- ◆ **ワールド・カフェ方式** カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中、3つのテーブルを少人数で囲み、メンバーの移動(ラウンド)を繰り返しながら自由に意見を交わす対話手法。
- ◆ **共創プラン・シート** A3サイズの専用シートを持ち歩き、ステップに沿って穴埋めするだけで思考が整理される設計。(右図)
- ◆ **各社の強みカタログ** 各社の強みや、ちょっと変わった特徴・経営資源(ヒト・モノ・情報など)を、事前の自己申告により集め、リスト化。
- ◆ **運用ルール(2分間ピッチ)** 各ラウンドの冒頭で「必ず1人2分ずつ」区切って発表するルールを徹底。これにより全員に均等な発言権が担保されました。

<ラウンド1>: 自社の棚卸し: 強みと「弱み」の自己開示で共感を深める

最初のラウンドでは、事前のヒアリングをもとに事務局が作成した「強みカタログ」をインプット資料として活用し、**自社の「最大の武器」と「一社単独では越えられない壁(経営の悩み)」**を各社が発表しました。



【ROUND 1】 自社の棚卸し (25分)



テーマ: 自社の「最大の武器」と「単独では越えられない壁」

STEP 1: シート記入 (3分)

- 事前アンケート(強みカタログ)も参考に、シートのROUND1を埋めてみましょう。

STEP 2: 発表タイム (1人2分ずつ)

- カタログの文字だけでは伝わらない「強みの裏側」や「リアルな悩み」を教えてください。

STEP 3: フリー対話(残り時間)

- 発表内容について、テーブル内で自由に質問や深掘りをしてみてください。

普段の交流会では自社の強みばかりをアピールしがちですが、あえて「弱み(壁)」をセットで開示する進行ルールとしたことで、参加者同士の心理的ハードルが大きく下がりました。「採用がうまくいかない」「技術はあるが売り方が分からない」といった**経営者ならではの孤独やリアルな悩み**が打ち明けられ、テーブル内には一気に**深い共感と、互いに助け合おうとする信頼関係**が生まれました。

〈ラウンド2〉: 自社×他社の妄想(掛け合わせ実験): 制約を取り払った発想の飛躍

【ROUND 2】

【自社×他社】の妄想 (25分)



テーマ: 自社を忘れ、発想の枠を広げる「掛け合わせ」実験

STEP 1: シート記入 (3分)

- カタログやご自身の知識から他社を2社選び、「**自社の強み**」×「**他社の強み**」= 無茶苦茶な事業! を妄想し、ROUND2に記入してください。(1社でもOK!)

STEP 2: 発表タイム (1人2分ずつ)

- 皆さんの「無茶苦茶で面白い事業アイデア」を発表してください。

STEP 3: フリー対話 (残り時間)

- 「こうすればもっと無茶苦茶になる!」と面白がってアイデアを広げましょう。

くじ引きによるダイナミックな席替えを経て、ラウンド2では「自社と、同席した他社の強みを掛け合わせて、ムチャクチャな新規事業を妄想する」というユニークなワークを実施しました。



通常、自社単独で新規事業を考えると、どうしても「予算がない」「人が足りない」といった現実的な制約が思考のブレーキとなってしまう。しかし、「自社×異業種(他社)」という強制的な結合に加え、「実現可能性は一旦無視して面白い」という運用ルールを導入したことで、発想の枠組みが一気に外れました。

「うちの技術と御社のリソースを組み合わせたらどうなる?」「こうすればもっと無茶苦茶で面白い!」と、失敗を恐れない斬新なアイデアが次々と飛び交い、会場全体がたくさんの笑いと熱気に包まれました。このワークを通じて、経営者たちの思考は完全に柔軟さを取り戻し、次の最終ラウンドに向けた最高の助走となりました。

〈ラウンド3〉: わが社の共創プラン宣言: 熱を帯びたアイデアを「自社」へ持ち帰る

最終ラウンドでは、再び席替えを行い、ラウンド2で得られた他社からのフィードバックや斬新なアイデアを振り返りました。ここで改めて「自社」を主語に戻し、本日の気づきを『わが社の共創プラン宣言』として手元の共創プラン・シートにまとめ上げました。

思考の枠が外れた状態(心理的安全性が高い状態)で記入を進めるため、どの参加者もペンが止まることなく、実現に向けた具体的なアクションや、協業したいパートナー企業の名が次々とシートに書き込まれていきました。

【ROUND 3】

自社の「共創プラン」構築 (25分)



テーマ: 自社を主語に戻す。「私の共創プラン宣言(仮)」

STEP 1: シート記入 (3分)

- ROUND 2の発想の飛躍を持ったまま、「自社の強み」×「他社(今日参加の11社)の強み」で、ROUND 3を完成させてください。

STEP 2: 発表タイム (1人2分ずつ)

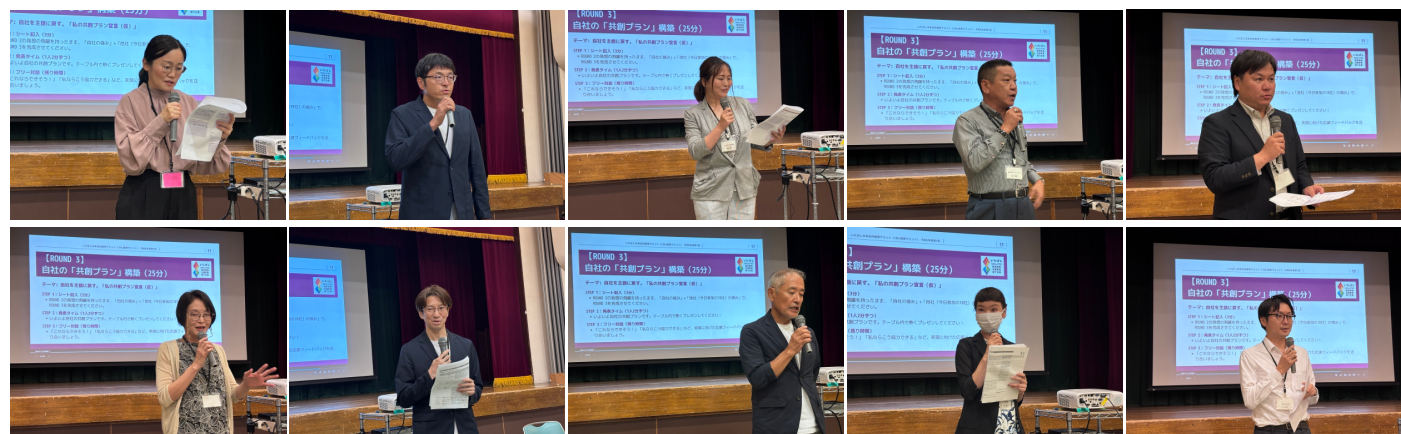
- いよいよ自社の共創プランです。テーブル内で熱くプレゼンしてください!

STEP 3: フリー対話 (残り時間)

- 「これならできそう!」「私ならこう協力できる」など、実現に向けた応援フィードバックを送り合ひましょう。

3. ハーベスト(全体共有): 全社長連続! 2分間・共創プランピッチ

すべてのワークを終えた後、会場全体で成果を分かち合うハーベスト(収穫)の時間を設けました。マイクをリレー形式で回し、全社長による「2分間ピッチ」を敢行。一社単独では決して生まれなかった、革新的な新事業の種(共創プラン)が次々と発表されました。



未来志向経営を志す社長たちの妄想から生まれた「共創プラン」。その一部を次ページで紹介します!

共創プラン(一部)		「妄想(掛け合わせ実験)」の内容
1	歯科治療のエンタメ化プロジェクト (しおきデンタルクリニック × 翔悠 × シグナライズ)	◆ 「治療時間が分からず怖い」という患者の課題に対し、ハード開発とコンテンツ制作のノウハウを掛け合わせ、 <u>楽しい映像や香りが流れる「没入型ゴーグル」を共同開発するアイデア。</u>
2	廃材を価値に変える「防災アップサイクル・サイン」 (ヤマテ・サイン × 恵友印刷)	◆ 屋外看板製作時に発生する丈夫なシート端材と、印刷技術を掛け合わせる。端材に地域の防災マップ等を印刷し、 <u>いざという時に雨よけテントや簡易担架として使える「街角のフェズフリー看板」を展開する事業。</u>
3	樹木診断の抜本的効率化 (栗山造園 × ルケオ)	◆ 倒木リスクを防ぐ診断業務において、特殊レンズ技術・光技術を活用。何度も現場に足を運ぶ必要があった <u>内部腐朽の診断を「現場で一発で可視化する」</u> 画期的な業務改善プラン。
4	全国空き家総 DIY 人材育成計画 (シグナライズ × サンアルク)	◆ 動画コンテンツ制作の強みと、電気工事のプロ職人の技術を融合。空き家問題に対し、 <u>自ら家をメンテナンスできる(第二種電気工事士資格等を持つ)DIY 人材を育成・輩出する社会的プロジェクト。</u>
5	就業規則の「絵本化」 (恵友印刷 × ひまわり福祉会 など)	◆ 多様な人材が働く福祉現場において、 <u>文字だけでは伝わりにくいマニュアルやルールを、印刷・製本ノウハウを用いて「絵本化(視覚化)」。</u> 心理的ハードルを下げて理念を浸透させる仕組みづくり。
6	シール技術×ドローンによる災害時の人流検知 (日本ラベル × フォーラム・ジェイ + ドローン技術)	◆ ヘルメット等に「光学的に識別しやすい特殊シール」を貼り、上空からドローンで読み取る技術をデータベースと連携。 <u>災害時の迅速な避難支援や人流把握に役立てる防災インフラ構想。</u>

4. クロージング: 共創の輪がもたらす未来

行政の補助金や既存の枠組のみに依存するのではなく、「民間企業同士が自律的にリソースを掛け合わせ、共に地域社会の課題を解決していく」という、板橋区が目指す強固な企業間連携のネットワークがまさに機能し始めた瞬間でした。終了後、名刺交換や具体的な協業の相談が各所で自然発生し、すべての参加者が笑顔で会場を後にされました。

「令和8年度 第2回 いっぱし未来志向経営サミット」の開催も予定しております。今回生まれた熱量と共創の種をさらに育て、板橋区発の共創の輪をより強固なものへと昇華させていく次なる展開に、どうぞご期待ください。



専門家「SDGs/ESG 経営アドバイザー」による伴走支援を受けながら、SDGs(未来志向)経営計画を策定し、未来志向の経営に取り組みませんか？

そして、修了企業のネットワークに入りませんか？

地域社会に必要とされ、いつまでも続く企業を目指して…

〈板橋区 SDGs/ESG 経営推進支援事業のご紹介はこちら〉

<https://www.city-itabashi-sdgs.jp/partner/support/>

(板橋区 SDGs プラットフォームポータルサイト内)



内容に関するお問い合わせ

板橋区 産業経済部 産業振興課

〒173-0004

東京都板橋区板橋二丁目

65 番 6 号 情報処理センター 5 階

電話: 03-3579-2172

ファクス: 03-3579-9756

作成日: 2026 年 9 月